車いすと杖の会
令和７年度奥浜名湖・焼津魚センター福祉バスの旅

車いすと杖の会　町田紘一

１日目;　光ヶ丘⇒市民会館前⇒足柄 SA⇒駿河湾沼津 SA(自由昼食)⇒三ケ日 IC
　　⇒国民宿舎奥浜名湖(泊)
2 日目;　国民宿舎奥浜名湖⇒舘山寺 IC⇒焼津魚センター(自由昼食)⇒足柄 SA
　　⇒市民会館前⇒光が丘（解散）

会員と付添、協力団体のメンバー２０名で７月 13，14 日にリフト付き神奈中観光バスで静岡県の奥浜名湖、焼津魚センターの旅に出かけました。当日は梅雨明け宣言が出ていない快晴で暑い日でした。昨年の一泊研修の旅は 7 月 28 日 29 日松代温泉と軽井沢の旅でした。

今まで利用したホテルは“かんぽの宿”が殆どで車いす利用者にやさしい宿でしたが、かんぽの宿が民間に移譲され、バリアフリーの部屋も浴槽付きの高額な部屋に改装。足腰が不自由な人が利用できたリフト付き家族風呂もリフトが撤去され、高額な別料金になり、使えない施設になってしまいました。大風呂や部屋風呂が利用できない障がい者は家族風呂を無料で使えるのは当然と思っていましたが、リフトもなく有料となり、旅行の楽しみが半減されました。おむつ利用者は清潔を保つ必要があるため、入浴や清拭が必須です。さらに、車いす利用者が使えるバリアフリーの部屋も削減され、車いすの団体が泊まれるホテルを探すのは大変な状況です。今回は国民宿舎で、バリアフリーの部屋があるとの事で、奥浜名湖を選びました。バリアフリーは一部屋で、畳スペースとベッド 2 台があり、比較的広いスペースの部屋でしたが、予算の関係と、複数の車いす利用者がいるため、この部屋は介助者など 5 名の方に利用してもらいました。車いす利用者はベッド部屋を使ってもらいましたが、洗面所は入口が狭く段差もあり、車椅子では使えない状態でした。その為、洗面、歯磨きなどは、バリアフリーの部屋の洗面や、ロビーにあるトイレの洗面所を使ってもらいました。

高齢と車いす利用者の関係で、本来の旅の楽しみである、観光地やレジャー施設に寄り、ホテルのお風呂と楽しい食事を頂くという予定を組み込むことが出来ず、国民宿舎に直行という事で、元気な人には物足りない旅だったとの声もありました。それでも、バスの中で、会長がゲームで集めた可愛い買い物バッグやストラップなどの景品、有志から差し入れのお菓

子を頂き、昨年も一緒だったバスガイドの楽しいお話を聞きながら思い出に残る旅が出来ました。

国民宿舎奥浜名湖は山側の新東名高速と海側の東名高速の中間にあり、奥浜名湖や浜名湖が一望でき、上皇、上皇后様が訪れ読まれた歌碑のある公園も隣接しており、自然豊かな場所でした。到着した日は近くの神社でお祭りがあるとの事。会長と車椅子２名、数名の付添者が旧坂を下り、お祭りを見学、帰りは登り坂、電動車椅子の電池が切れ大変な思いをしたとの話も。夕食は普段食べられないほどのご馳走を頂き、食後はカラオケを楽しみました。

帰りは東名高速で焼津魚センターへ、何回か利用した場所でもあり、勝手知ったる人もおり、魚やみやげ物を買う人、回転寿司に入るグループや、宿の朝食でお腹が一杯の人は、炎天下かき氷やソフトクリームなど。足柄ＳＡでのトイレ休憩後、渋滞もなく、楽しかった思い出を胸に帰路に着きました。ありがとうございました。

これからも、無理な行程は計画できず、移動が厳しい障がいを持つ車いす利用者にとって宿探しや観光地探しが難しく、会員の高齢化もあり、一泊の旅は、今回が最後かなとの話に、日帰りでもいいからぜひ旅の計画をしてとの意見も多く聞かれた旅でした。次回は可能であれば、家に閉じこもりにならないよう、仲間同士、同じ目線での話が出来る日帰りの旅を計画したいと思っています。今回も福祉バスの利用が出来有難うございました。